

緑区:クロスロードゲーム(防災版)実施結果

設問		Yes(人数)	No(人数)	理由		感想
				Yes	No	
①	<p>あなたは・・・一般市民です。</p> <p>地震の影響で裏山のガケが崩れた。自宅に大きな損害はない。家族(高齢者2人)にも怪我はなかった。ライフライン(電気・ガス・水道)は不通。避難所は自宅から歩いて15分。</p> <p>→質問:あなたはどうしますか?</p> <p>YES(家族で避難する)/NO(自宅に留まる)</p>	回収数51人 19 (38%)	31 (62%)	<ul style="list-style-type: none"> ・裏山が崩れたので、いつ自宅に災害がくるかわからない。 ・早期避難が優先 ・避難所にいた方が情報が集まる ・高齢者はいざという時に動けないので、先に安全確保のため。 ・ライフラインが止まっているから。 ・余震による災害の恐れ ・隣近所を確認してから避難所へ行く 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅が大丈夫だから ・避難所が遠い、15分歩くのがいや ・家族が全員無事だったから ・情報を確認するまで動けない ・取りあえず様子を見る(状況の確認が先) ・避難所が混雑している場合もある ・高齢者の移動が安全か疑問 ・備蓄があるから1~2日は大丈夫 ・井戸がある ・ライフラインが止まっても生きていけるよう準備してある ・まず避難所に行く前に、近所の状況を確認(安否確認)。 	<p>・設問に対するとらえ方が千差万別なので、回答が分かれたのだと思う。興味深い結果になった。</p> <p>・取りあえず避難しようとする行動派と、様子を見る慎重派に分かれた。</p> <p>・備えがしてあるから大丈夫という自信がある人は、自宅に留まることを選んだ。</p> <p>・「隣近所を確認してから避難所へ行く」という同じ行動であっても、確認に重点を置いた人はNoという答えになった。</p> <p>キーワード: ①避難所とは 自宅に住めないが基本 ②ライフラインが不通は 避難理由になる? ③裏山が崩れた 2次災害の恐れあり</p>
②	<p>あなたは・・・区役所の職員です。</p> <p>自宅は半壊状態。自分も腕に怪我をした。家族も心細そうに見ている。電車も止まっている。出勤には歩いて3時間位必要</p> <p>→質問:あなたはどうしますか?</p> <p>YES(出勤する)/NO(自宅に留まる)</p>	回収数49人 18 (37%)	31 (63%)	<ul style="list-style-type: none"> ・職責の自覚と責任 ・家族には自分の職責について伝えてあるので、納得してくれると思う。 ・近くの役所に行って様子を聞く ・行ける状態であれば行くべき。それが公務員だ。 ・防災関係の部署に勤務している前提で行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が怪我をしているから ・通勤に時間がかかる。出勤が困難 ・怪我をしているので、出勤してもかえって迷惑をかける ・無理に出勤すると危険 ・職責があっても自分や家族を優先すべき ・地域の方を優先する(共助) ・まず、自宅や周囲の状況を確認する。出勤はそれから。 ・家族をまず近くの避難所へ 	<p>回答は次の3つに分かれた</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.公務員なんだから何がなんでもいくべきだ。 2.無理していく必要はない。行っても却って迷惑をかける。 3.行く前に、家族や隣近所のケアを行う(この人たちはNoと回答した) <p>キーワード ①自治体の職員 参集義務は? 属先は関係ある? ②自身は怪我している ③自宅は半壊状態 家族は避難所? ④自身も被災者</p>
③	<p>あなたは・・・要援護者(一般男性・女性)です。</p> <p>地震発生から24時間。自宅は大きな被害はない。ライフライン(電気・ガス・水道)は不通。避難所の方が安全だと思っている。しかし、人混みが苦手、持病(腰痛)もある。</p> <p>→質問:それでも避難所に行く?</p> <p>YES(避難する)/NO(自宅に留まる)</p>	回収数49人 17 (35%)	32 (65%)	<ul style="list-style-type: none"> ・要援護者だから早めに避難する ・避難が遅れると救護者にも迷惑をかける ・1人住まいなので避難所に行く ・誰かが迎えに来てくれる。 ・行った方が身のため ・避難所には看護師もいる ・早めに避難したほうが良い。持病の悪化も心配 ・避難所の方が安全 ・要援護者ほど1箇所に集まってもらった方が助けやすい。 ・自宅にいられると確認が大変 	<ul style="list-style-type: none"> ・人混みが苦手、持病があり自宅が大丈夫なら、留まった方がよい。 ・自宅に必要なものが揃えてある。 ・自宅の方がストレスが少ない ・24時間程度なら自宅で様子を見る。 ・避難所に行くと、家族や周りの人に迷惑をかけてしまう。 ・動けない。 ・避難所では却って持病が悪化しそう。 	<p>・避難所をポジティブに考えるか、ネガティブに考えるかで答えが分かれた。</p> <p>・持病の悪化を理由に挙げていても、答えが分かれることがある。</p> <p>・援護する側の立場に立った回答もあった(設問を読み上げて理解してもらうのは難しい)</p> <p>キーワード: ①要援護者 要援護の内容は? ②自宅待機のリスク ライフライン使えない 自宅周辺の被害状況 ③避難所での過ごし方 プライバシー 他者への</p>

④	<p>あなたは・・・急傾斜地沿いに住む一般市民です。</p> <p>母(70歳)、妻、小学生の子供との4人家族。自宅に被害は無い。現在、深夜12時。激しい雨が降り続けている。がけ崩れの危険があるとして、避難勧告が出た。</p> <p>→質問:あなたはどうしますか?</p> <p>YES(家族と一緒にすぐ避難する)/NO(自宅に留まる)</p>	<p>回収数54人</p> <p>38 (70%)</p>	<p>16 (30%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告が出ている ・自宅も危険 ・急傾斜地であること ・70歳の母親がいる ・危ないと思ったら逃げる ・地元でも被害があった ・がけ崩れの恐れ ・ためらう理由がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・深夜で激しい雨のため2次被害の恐れがある ・頼りたくない ・避難するのが危険 ・無理して動かない方がよい ・避難するならもっと早く(タイミングが遅すぎる) ・自宅の安全性が高い場所(2階や斜面の反対側)に移動する ・70歳の母親の移動が大変 	<p>考え方により、意見が分かれた(危ないからすぐ逃げる vs 逃げるのは危険)</p> <p>キーワード:</p> <ul style="list-style-type: none"> ①急傾斜地 地震での影響は? 地震後の長雨 ②避難勧告 すぐに避難? ③深夜の移動 高齢者と子供連れ 視界不良
⑤	<p>あなたは・・・被災者です。</p> <p>自宅は半壊状態。自分も割れたガラスで足に怪我をした。災害時には、まず「いつとき避難場所」に集合する事になっている。「いつとき避難場所」まで歩いて10分。しかし、歩いて5分。の所に避難所(小学校)がある。</p> <p>→質問:あなたはどちらに行きますか?</p> <p>YES(いつとき避難場所)/NO(避難所の小学校)</p>	<p>回収数49人</p> <p>11 (22%)</p>	<p>38 (78%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは「いつとき避難場所」で情報を入力してから考える ・家族でも「いつとき避難場所」で落ち合うことを申し合わせていたなら、そこに行かないと家族が心配する。 ・ルールだから指定された場所へいく。 ・周辺状況がよければ指定された場所へいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我をしているので、近い方(小学校)が良い。 ・防災拠点には医者がある可能性がある ・小学校の方が必要なグッズが揃っている。 ・避難所へ行って開いてなければ、いつとき避難場所へ。 	<p>回答は次の3つに分かれた</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ルールを守る 2.家族で「いつとき避難場所」へ行くと決めているはず 3.怪我をしているから、近い方へ行く。 <p>キーワード:</p> <ul style="list-style-type: none"> ①足に怪我 怪我の程度は? ②いつとき避難場所とは? ③町内会のルール ④地域で避難所が指定
⑥	<p>あなたは・・・避難所運営の役員です。</p> <p>自身に怪我はない。家族の安否は確認出来た。自宅は半壊状態。避難所(小学校)は歩いて10分。家族同様の飼い犬(大型犬、メス3歳)がいる。</p> <p>→質問:ペットはどうしますか?</p> <p>YES(連れていく)/NO(自宅に置いていく)</p>	<p>回収数49人</p> <p>9 (18%)</p>	<p>40 (82%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大型犬でも家族同様だから ・連れていった方が安心 ・最近では、避難所でもペット対策が出来ているはず。 ・屋外につないでおく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連れていくと迷惑をかける。 ・ペットを持ち込める体制が出来るまで待つ。 ・アレルギーや衛生面の問題 ・自宅まで10分なので、面倒を見に帰れる ・大型犬なのでドロボウよけになる ・大型犬をこわがる人もいる。 ・気になって役員の仕事に専念できない ・自宅が半壊でも犬は大丈夫 ・犬に我慢してもらう。1~2日は食べなくても生きていける。 	<p>思ったよりYesが少なかった。犬の身になって考えることはできないようだ。</p> <p>キーワード:</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安否確認 電話は錯綜状態 安否確認方法(171) ②避難所運営の役員 参集義務 ③ペット問題 アレルギー(毛・匂い)
⑦	<p>あなたは・・・避難所運営の役員(食料・物資班の責任者)です。</p> <p>現在の時刻は午後6時 避難所には800人の避難者がいる。 現時点で確保出来た食料は500食分。 しかし、以降の食料確保の見通しは無い。 避難者から食料配給の要望が出ている。</p> <p>→質問:今ある食料をどうしますか?</p> <p>YES(配る)/NO(配らない)</p>	<p>回収数49人</p> <p>39 (81%)</p>	<p>9 (19%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・500食を小分けして800食にする(配り方を考える) ・子どもや老人を優先 ・いたむ物は取っておいても仕方ない ・ルールを決めて配る ・目の前にあるのに配らないわけにはいかない。 ・1人ずつではなく、家族単位で配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐには配らず情報入手を優先する(もし本当に出来ないなら配らざるを得ない) ・どうするか、避難者に訊いてみる ・現状を話して、当面は我慢してもらう ・食料はできるだけ残しておいた方がよい ・午後6時だからまだ来る可能性を考えて翌日まで待つ 	<p>絶対に配らず我慢してもらうという人は、ほとんどいなかった。 すぐ配るか、慎重によく考えるかの違い。</p> <p>キーワード:</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公平性 避難所運営の役員 自治体の職員 ②優先配布 高齢者・子供・妊産婦 ③物資 保管場所の確保

⑧	<p>あなたは・・・被災者です。</p> <p>自宅は半壊状態。家族4人で避難所へ。日頃の備えで「非常持ち出し袋」を持っている。「非常持ち出し袋」には、水や食料が入っている。現在午後5時。避難所には水や食料も届いていない。</p> <p>→質問:あなたは「非常持ち出し袋」をどうしますか？</p> <p><u>YES(開ける)/NO(開けない)</u></p>	<p>回収数52人</p> <p>30 (58%) 22 (42%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大事に使いながら食料が届くのを待つ。 ・「非常持ち出し」であり、この時こそ使う ・必要により周囲にも配る。 ・日頃の恨み(やるもんか) ・日頃の備えとして当然(用意していないのが悪い) ・分けてあげるのを前提に開ける ・自分の備えだから自分で食べる ・必要な状態か確認して、皆で分けあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ5時なので、もう少し我慢する ・何も持っていない人の前で開けて食べる訳にはいかない。 ・周りに遠慮。 ・うっかり開けると暴動が起きるかも ・備蓄があるはず ・鍛練のために開けない ・まず必要な状態か確認する。 	<p>回答が分かれ、興味深い結果になった。思ったよりも、「自分で備えるのは当然だから開けてよし」という意見が多かった。</p> <p>キーワード:</p> <p>①日頃の備え 非常持ち出し袋 非常用と家置き 保管場所 風呂の水の溜め置き 命の笛</p> <p>②他避難者への配慮</p>
⑨	<p>あなたは・・・高齢者です。</p> <p>現在夫婦2人で一戸建て暮らし。子供は別世帯でアパート生活をしている。住宅の耐震化を勧められているが、年金暮らしで蓄えも余りない。そんなに長生きもしないと、耐震工事に踏み切っていない。しかし、子供に家は残したいと思っている。</p> <p>→質問:あなたは耐震化工事をしますか？</p> <p><u>YES(する)/NO(しない)</u></p>	<p>回収数49人</p> <p>21 (43%) 28 (57%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家を残すならば、工事すべき(お金はかけないで出来るかもしれない) ・子どもに負担してもらう ・子ども世帯と相談して、一緒に住むようなら工事を考える ・行政からの援助(助成金)を活用する ・我が家はもう済んでいる ・子どもに頼れない。 ・家族に安心してもらうため。 ・子どもに家を残すため ・耐震化しておかないと、地震にあったときに周りに迷惑をかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金もないし高齢者なので、無理しない ・子どもは子ども ・自分のために金を使う ・一部屋だけの耐震もあるので、そちらを考える ・夫婦の年齢による ・覚悟して住む ・自分たちの人生だから自己責任でやらない ・早くつぶれて建て直した方がよい。 ・子どもがその家を欲しがるかどうかわからない ・家がつぶれたら子供の世話になります。 	<p>考え方の違いにより、意見が分かれ興味深い結果になった。考え抜いた結果、条件付きの回答(Yes/No)になった人もいる。</p> <p>キーワード:</p> <p>①耐震工事 工場の規模 期間 費用</p> <p>②費用対効果 壊れない家 壊れにくい家 避難する時間稼ぎ 100%の対策なし 憂いは少なくなる</p>
⑩	<p>あなたは・・・連合自治会の会長です。</p> <p>きょうは地域の防災訓練です。一年前から予定している。参加者は400人。予備日は予定していない。しかし、朝からみぞれ混じりの雨が降っている。</p> <p>→質問:防災訓練はどうしますか？</p> <p><u>YES(実施する)/NO(中止にする)</u></p>	<p>回収数49人</p> <p>34 (69%) 15 (31%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害はいつ起きるか分からないので良いシミュレーションになる。 ・1年前からの計画なので、あまりひどくない限りは実施する。 ・雨ならば建屋の中で行う。内容の変更(短縮)も。 ・中止の連絡が大変。 ・あえて行う。どうせ欠席者はでる、 ・運営の視点からやってみたい。 ・行うことで問題点が明らかになる。 ・集まることが目的ならば、どんな天候でもやるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練なので無理をしない。 ・人が集まらなると意味がない。 ・参加者は老人が多いので無理をしない。 ・予備日をつくるべき。 ・訓練は楽しみながらやった方が身に付く。 ・寒いので事故が起きないか心配 	<p>「無理をせずやれることをやりましょう」という意見が多かった。参加者の健康を気遣ってNoにした人も3割ほどいた。</p> <p>キーワード:</p> <p>①連合自治会の会長 最終決定者</p> <p>②防災訓練 参加者の安全 参加者の体調 災害時は晴天? あくまで訓練</p>

ファシリテーターが読み上げた設問を聞いて(問題を見ずに)即答するクイズ。従い、設問の意図を良く吟味する時間はない。しかし、みんな楽しみながら問題に向き合い、前向きな回答をする人が多かった。

非常に有意義な時間を共有できたと思う。

このレポートが、防災を考える上で参考になれば幸いである。